

道総研

障害抵抗性に優れ、多収な 早生小豆「きたろまん」(平成17年育成)

概要 Abstract

小豆「きたろまん」の特徴

長所○開花期頃の低温抵抗性が“やや強”である。

○落葉病・茎疫病(レース1)・萎凋病抵抗性が“強”である。

○倒伏抵抗性が“強”である。

短所●開花期前の低温により短茎化する場合がある。

成果 Results

「きたろまん」の障害抵抗性

品 種 名	耐病性					耐冷性 (開花 着莢期)
	落葉病 レース		茎疫病 レース			
	1	2	1	3	4	
サホロショウズ	弱	弱	弱	弱	弱	中
きたろまん	強	弱	強	弱	弱	やや強
エリモショウズ	弱	弱	弱	弱	弱	中
きたのおとめ	強	弱	弱	弱	弱	中

注) 各病害レースに対する反応。強: 抵抗性、弱: 罹病性。

十勝農試における「きたろまん」の成績(平成19~28年平均)

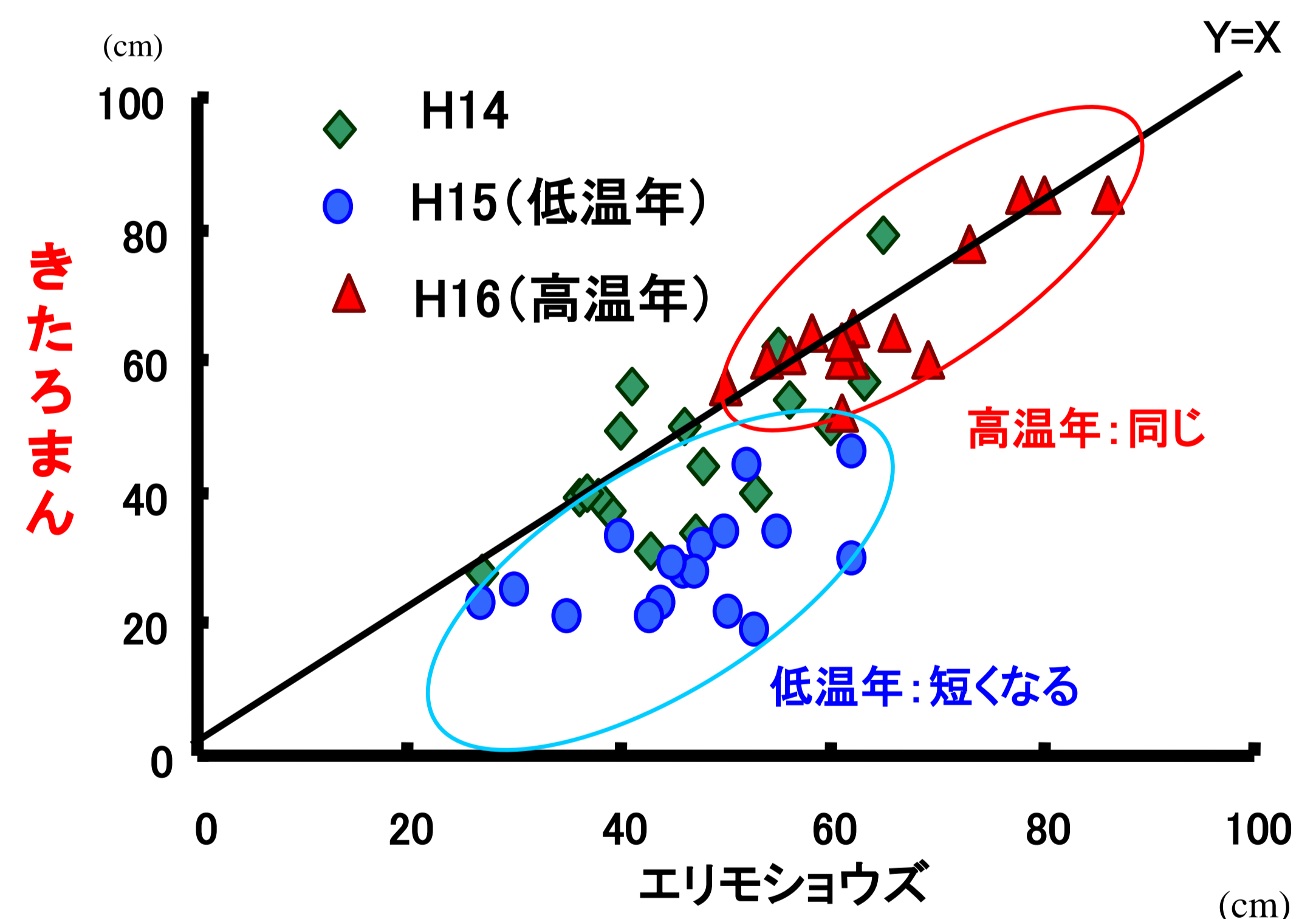
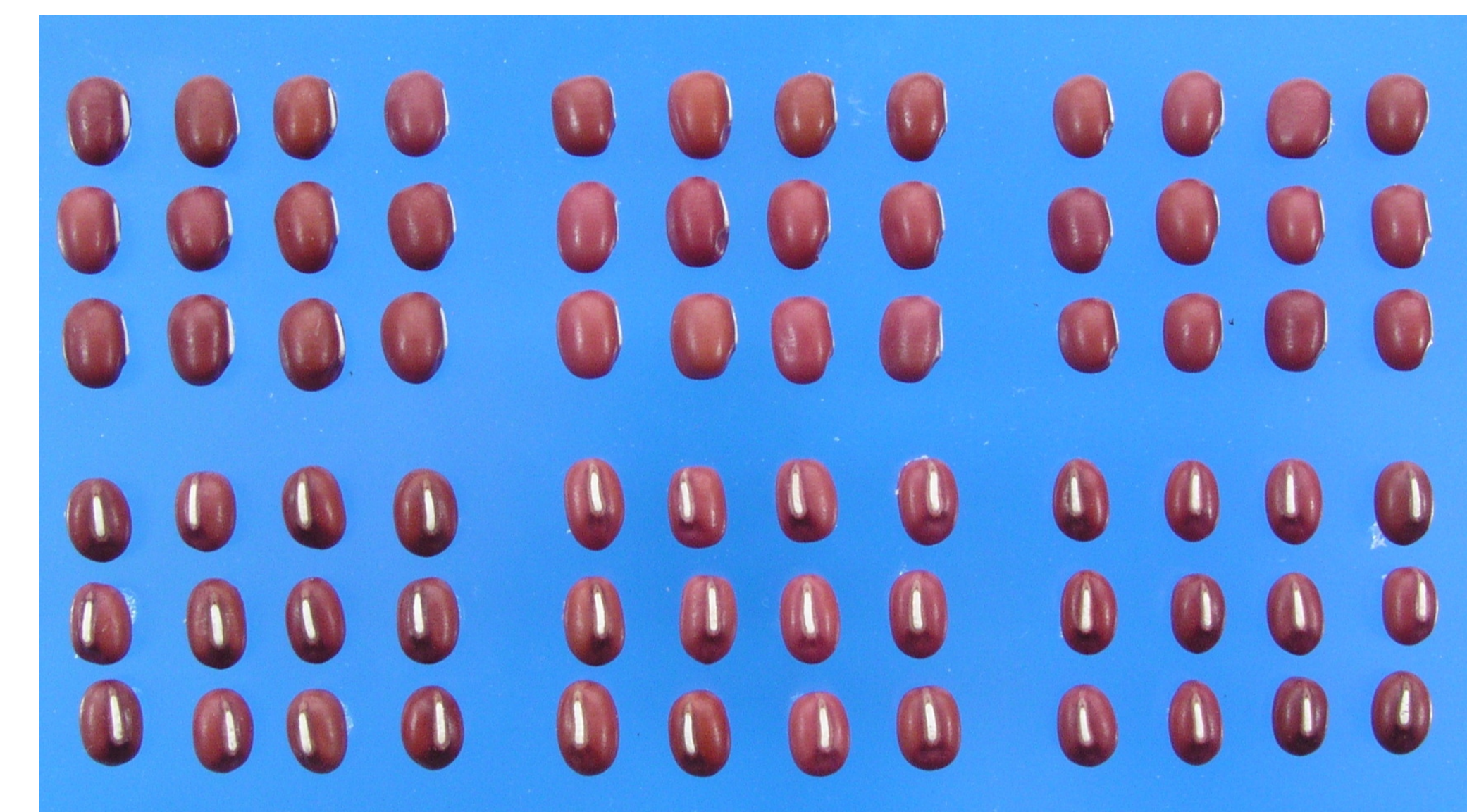
品 種 名	成 熟 期 (月日)	倒 伏 程 度	主 茎 長 (cm)	着 莢 数 (/株)	一 莢 内 粒 数	子 実 重 (kg/10a)	同 左 比 (%)	百 粒 重 (g)	層 粒 率 (%)
サホロショウズ	9.13	2.7	84	57	5.70	346	95	14.3	6.2
きたろまん	9.15	1.9	76	53	6.40	386	106	15.7	4.9
エリモショウズ	9.17	2.6	77	59	6.10	364	100	13.4	5.4
きたのおとめ	9.17	2.7	82	58	6.25	367	101	13.2	5.4

注1) 倒伏程度: 0(無)、0.5(微)、1(少)、2(中)、3(多)、4(甚)。

2) 同左比は、「エリモショウズ」の子実重を100とした百分率(%)。



きたのおとめ きたろまん サホロショウズ



主茎長の年次別比較
(道内49カ所の試験による)

普及 Dissemination

普及見込み地帯

- I (道東の早生種栽培地帯)
- II (道東の早・中生種栽培地帯)

及びこれに準ずる地帯 平成27年栽培面積: 7,605ha

栽培上の注意

1. 落葉病、茎疫病(レース1)、萎凋病に抵抗性を持つが、栽培に当たっては適正な輪作を守る。
2. 茎疫病発生圃場では、優先するレースにより多発する場合がある。
3. 短茎化した場合、機械収穫を行うと収穫損失が大きくなる場合がある。
4. 早生であるが、夏期温暖な条件下では中生品種より成熟期が遅くなる場合がある。

連絡先 Contact

十勝農業試験場
研究部 豆類畑作グループ
0155-62-2431
tokachi-agri@hro.or.jp